

2009年度

科目名	地域研究実習(事前事後の指導含む)			
担当教員	中道 厚子			
配当	人社3		コード	80651
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 3
授業テーマ	(A) 垂直的学び(専門知識を深める)、(B) 水平的学び(視野を広め、人とつながる)、(C) (基盤的学び(読み書き・PC操作能力を高める)			
目的と概要	「地域研究実習」は、学生それぞれが実習先(市役所やNPO/NGO、法律・会計事務所、民間企業、図書館、スポーツ施設など)を選択、あるいは自らビジネス等を企画し、80時間以上の実習を体験する中で起こる様々な学びを獲得する科目である。			
成績評価法	実習前の研究、実習中の様子を記した実習受入先からの評価表、実習後に行う振り返りの結果を踏まえて執筆する報告書や発表等を総合的に判断する。			
テキスト				
参考書				
履修に当たっての注意・助言	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間社会学部には多岐にわたる実習先を記したリストがあるので、実習先の選択はこのリストと担当教員のアドバイスを参考にしながら決めてください。 2. 実習中、何か困ったことがあればすぐに担当教員に連絡をするようにしてください。 3. 実習受入先では、挨拶をする、遅刻・無断欠勤はしないなどといった社会的なマナーを遵守しながら行動してください。 4. 本学の学生は、南大阪地域大学コンソーシアムが提供するインターンシップ制度も利用することができるので、特にビジネスの現場を見たい学生は共同研に相談するようにしてください。他大学の学生とともに受ける事前研修なども含めて大きな刺激になるでしょう。 			
講義計画				
<p>個々人によって地域研究実習の日程は異なるが、基本的には以下のようなスケジュールを想定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「地域研究実習」全体説明会(3月末)&「地域研究実習」受講者向けオリエンテーション(4月) 2. それぞれの担当教員による指導のもと、各自実習計画書を作成しつつ、各自実習先について事前研究を開始(4月) 3. 各自実習を実施しながら、実習日誌作成(実習は夏休み中の8-9月が望ましい) 4. 実習受け入れ先からの評価送付(10月) 5. それぞれの担当教員による指導のもと、各自、発表・報告書『SHARE』原稿作成(10-12月) 6. 総合評価による成績(2月) 				